

第7回 まちの活性化・都市デザイン競技

1. 目的

まちの活性化を図るためには、地域の方々の活発なまちづくり活動が不可欠であり、併せて、うるおいのある良好な市街地を創出し、美しいまちなみと人にやさしく賑わいのある都市空間を整備することが基礎的な条件を整える意味で極めて大切である。このため、広く一般からまちづくりの構想とまちなみデザインについて、様々な発想に基づく提案を求めることにより、今後のまちづくりと都市デザインに対する関心を高める事を目的とする。

2. 主催・後援

- (1) 主催 : まちづくり月間実行委員会
(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- (2) 後援 : 国土交通省、岡山県、岡山市

3. 事業実施経緯

- (1) 応募登録期間 : 平成16年10月 4日(月)～11月 4日(木)
- (2) 作品提出期間 : 平成17年 2月17日(木)～ 2月28日(月)
- (3) 審査 : 平成17年 3月22日(火)
- (4) 表彰 : 平成17年 6月(まちづくり月間期間内)

4. 審査委員

- 委員長 : 西村 幸夫(東京大学教授)
- 委員 : 石川 幹子(慶應義塾大学教授)
- 加藤 源(都市プランナー)
- 岸井 隆幸(日本大学教授)
- 北山 孝雄(総合プロデューサー)
- 藤本 昌也(建築家・関東学院大学教授)
- 森野 美徳(ジャーナリスト)
- 竹内 直文(国土交通省都市・地域整備局市街地整備課長)
- 馬場 俊介(岡山大学教授)
- 板矢 文雄(岡山県土木部都市局長)
- 萩原 誠司(岡山市長)
- (順不同)

5. 課題地等

岡山県岡山市「桃太郎大通り沿道地区」約32.6 haを課題地区として設定。テーマは「風格と賑わいのある都心景観の創出」とし、中心市街地の目抜き通り沿道地区を対象に都市再生の構想とまちなみデザイン、まちづくりのアイデア等の提案を求める。

6. 審査結果

- 国土交通大臣賞(1点)
- 風見 正三 他6名(大成建設(株)設計本部まちづくりグループ)
- まちづくり月間実行委員会会長賞(1点)
- 瀬川 勝之 他5名(株緑景)
- (財)都市づくりパブリックデザインセンター会長賞(1点)
- 岡 大輔 他4名(株環境デザイン機構)
- 奨励賞(3点)
- 田村 夏美 他6名(株アルテップ)
- 横山 大輔 (岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科)
- 石田 計志 他3名(高知工科大学工学部社会システム工学科 助手)

国土交通大臣賞受賞作品

風見 正三 他6名(大成建設(株)設計本部まちづくりグループ)

城園都市

山と谷の地形を活かした都市設計。山麓に広がる緑豊かな住宅地と、谷間に広がる商業・業務地区が、自然と共生する都市設計を実現しています。



3つのスケールによる風景デザインコントロール

大規模・中規模・小規模の3つのスケールによる風景デザインコントロールを実現しています。

- 大規模スケール**：都市全体の景観をコントロールするための設計手法。
- 中規模スケール**：街区レベルでの景観デザインをコントロールするための設計手法。
- 小規模スケール**：建物レベルでの景観デザインをコントロールするための設計手法。

同山の歴史的なコンテクストの継承

同山の歴史的なコンテクストを継承し、現代の都市設計に活かしています。

同山のシンボルとなる城園都市軸の強化

同山のシンボルとなる城園都市軸を強化し、都市の魅力を向上させています。

自然と共生する都心の底づくり

自然と共生する都心の底づくりを実現し、都市の持続可能性を高めています。



大通り四辻

大通り四辻の都市設計。多様な用途を組み合わせ、都市の魅力を向上させています。



シティゲート 街の「顔」の創出

シティゲートとして街の「顔」を創出し、都市の魅力を向上させています。

グリーンクロス 自然と共生する都市設計

グリーンクロスとして自然と共生する都市設計を実現しています。

コミュニティコア 生活の中心地

コミュニティコアとして生活の中心地を創出し、都市の魅力を向上させています。

カルチャーゲート 文化の発信地

カルチャーゲートとして文化の発信地を創出し、都市の魅力を向上させています。

多様な用途による新しい都市生活の創造

多様な用途を組み合わせ、新しい都市生活を創造しています。

同山の都市文化を創るストリートマネジメント

同山の都市文化を創るストリートマネジメントを実現しています。

